



- ✓ 集合型で行うセミナーと同水準の質の高いセミナーをお届けします。
- ✓ 音声やチャットでの応答を行い、ライブならではの臨場感のある講義を行います。
- ✓ テキストは事前に郵送にてお届けし、手元にテキストを控えながらご受講いただけます。
- ✓ 受講の集中力を維持するために、適度な休憩を確保します。

### 参加申込規定

#### ●WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。



※当協会のホームページは [www1.logistics.or.jp](http://www1.logistics.or.jp) または「JILS」で検索してください。

#### ●FAXの場合

下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

#### ●オンラインセミナーへのご参加にあたり

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申し込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
- Zoomクライアントをインストールしていること。
- マイクの使用ができること。
- Microsoft Office (Word・Excel・PowerPoint) が使用できること。
- 本セミナーの受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本セミナーを期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本セミナーの録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

### 申込規定

#### ●参加料

日本ロジスティクスシステム協会会員  
**38,500円** (税込/1名)

上記会員外  
**55,000円** (税込/1名)

#### ●参加定員

**25名** (最小催行人数: 5名)  
※定員になり次第締め切らせていただきます

#### ●参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として参加者のE-mail宛に送付いたします。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

#### ●キャンセル規定

- 開催7日前～前々日 (開催日初日含まず起算) 参加料 (消費税を除く) の30%
- 開催前日および当日 参加料 (原則として消費税を除く) の全額

#### ●個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

#### ●参加申込先/内容の問い合わせ先

公益社団法人  
日本ロジスティクスシステム協会  
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイティアム3F  
業務管理部 セミナー担当宛  
E-mail [shien@logistics.or.jp](mailto:shien@logistics.or.jp)  
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

### 参加申込書

参加申込FAX **03-3436-3190**

『超』入門! 世界標準のSCMセミナー 開催日/7月24日(水)、7月31日(水)、8月7日(水) 計3回

|                  |   |  |       |  |
|------------------|---|--|-------|--|
| フリガナ<br>会社名・事業所名 | <input type="checkbox"/> 協会会員<br><input type="checkbox"/> 会員外 | 参加料のお支払いが開催後になる場合は明記ください。<br>支払予定日: 月 日 予定 |       |  |
| フリガナ<br>氏名       | 所属・役職名  |  |       |  |
| 所在地 〒 ー<br>都道府県  | TEL. ( ) ー  |  |       |  |
| E-mail           | FAX. ( ) ー  |  |       |  |
| 協会への連絡事項         | 受付日   | 請求日  | 請求書NO |  |

BA2464

# 『超』入門! 世界標準のSCMセミナー

SCMを理解するための「観点」と「基礎知識」の習得を目指す

計3回 **7/24(水)・7/31(水)・8/7(水)** イブニングセミナー

- 「SCM」という言葉に初めて接する実務家の概念理解を支援・促進することを目指しています。
- 各講義による「学び」とグループワークによる「気づき」の組み合わせにより学習を進めます。
- SCMについての本格的な学びの橋渡しとして、積極的なご参加をお待ちしております。

この度、日本ロジスティクスシステム協会では製造業や流通業などのSCM担当者や新任マネージャの皆様を主な対象としたSCMの入門セミナーを開催いたします。SCMの要諦である計画業務には、ロジスティクスと生産の現場における変化を感じ取るための「虫の目」だけでなく、これらの変化の意味を適切に捉えるための「鳥の目」が求められます。本セミナーは、世界標準の知識体系に沿った講義と演習を通じ、SCMを理解するための「観点」と「基礎知識」の習得を目指していただくものです。これからSCMの専門領域へと学びを深めるための「はじめの一步」として是非ご参加を検討ください。

〈参加対象〉製造業・流通業・サービス業などにおけるSCM担当者・マネージャ

1部配布  
日刊工業新聞社より刊行  
『基礎から学べる! 世界標準のSCM教本』



### セミナーカリキュラム (講義/90分、演習/20分、質疑/10分)

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>第1回<br/><b>7/24(水)</b> 18:30-20:30<br/>「SCMって何?」<br/>1-0 はじめに<br/>1-1 SCMは何を目指す活動なのか<br/>1-2 なぜSCMが重要なのか<br/>1-3 SCMの観点から自社の活動を整理する<br/>演習1 自社のサプライチェーン俯瞰する</p> | <p>第2回<br/><b>7/31(水)</b> 18:30-20:30<br/>企業活動におけるSCMの要素①<br/>2-1 SCMにおける「調達」の役割について<br/>2-2 SCMにおける「生産」の役割について<br/>2-3 SCMにおける「流通」の役割について<br/>2-4 自社を含むサプライチェーンを描いてみる<br/>演習2 自社サプライチェーンの特徴を整理する</p> | <p>第3回<br/><b>8/7(水)</b> 18:30-20:30<br/>企業活動におけるSCMの要素②<br/>3-1 SCMにおける「需要情報」と「供給活動」<br/>3-2 SCMにおける「在庫」の役割・ROICについて<br/>3-3 サプライチェーンの外部環境を整理する<br/>3-4 SCMの観点から自社の課題を再整理する<br/>演習3 自社のSCM課題を設定する</p> |
|--|---|--|

※諸事情により、講義内容に変更される場合があります。※講義においてグループディスカッションを行います。※オンラインでの参加方法についてはパンフレット裏面をご参照ください

#### 講師プロフィール

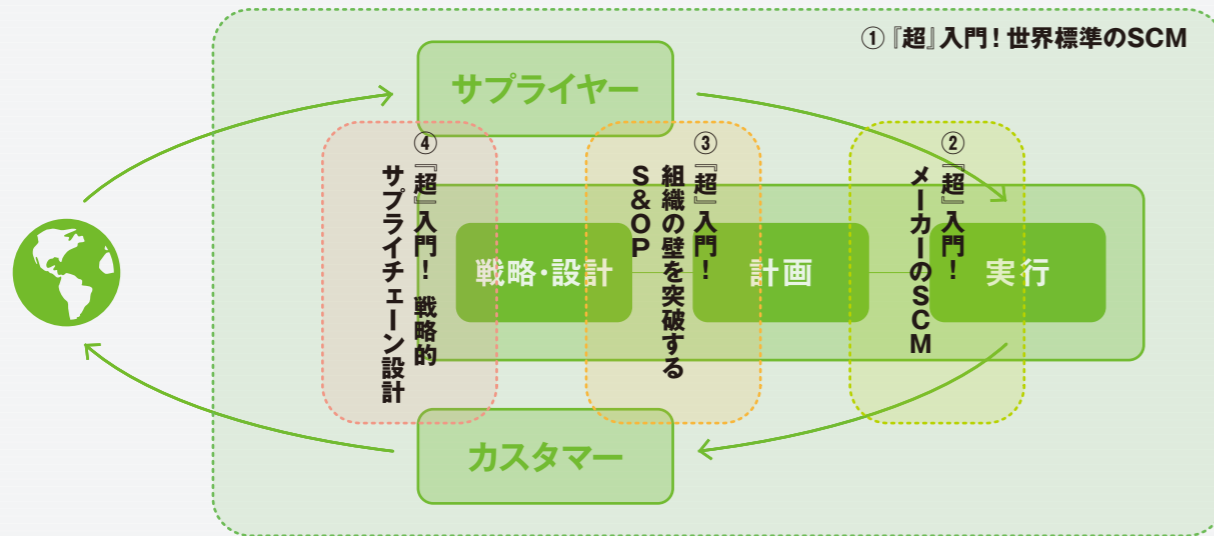
**行本 顕 氏**  
YUKIMOTO KEN

1974年生まれ。APICS認定インストラクター (CPIM-F・CLTD-F・CSCP-F)、法学修士。銀行員を経て2003年より国内消費財メーカーに勤務。生産管理・海外調達を担当。2010年～2012年にかけて米国の大手消費財ディストリビューターに常駐、S&OPを担当。日本初のAPICS三科目認定インストラクターとして日本ロジスティクスシステム協会、日本生産性本部他での講演を中心にSCM普及活動を行っている。戦略的SCMコース第12期修了生。JILS調査研究委員会委員。JILSサプライチェーンマネジメント推進会議議長。著書に「基礎から学べる! 世界標準のSCM教本」(日刊工業新聞社)「全国解メーカーの仕事」(ダイヤモンド社)他。日刊工業新聞にて「ビジネスパーソンのためのSCM講座」連載中。



# 『超』入門! サプライチェーンマネジメント(SCM)シリーズのご案内

## 1. 『超』入門! SCMシリーズの全体像



「基礎から学べる!世界標準のSCM教本(日刊工業新聞社)」をもとに作成

『超』入門! SCMシリーズは4つのモジュールで構成されたサプライチェーンマネジメント(SCM)の入門セミナー群です。SCMの「設計・計画・実行」それぞれの業務領域に求められる「観点」と「基礎知識」の習得を目指しつつ、相互の関連性を同時に学びます。各モジュールは講義とグループワークで構成されています。個別に受講することも可能ですが、すべてのモジュールを受講することで世界標準のSCMの基礎をより体系的に学ぶことができるでしょう。また、これらのモジュールはいずれも世界標準のSCMにおける世界観に準拠していますので、はじめてSCMの世界に足を踏み入れた方も、すでに実務経験を積まれた方も、受講後は本セミナーの内容を「共通言語」としてご活用いただける点にも特徴があります。

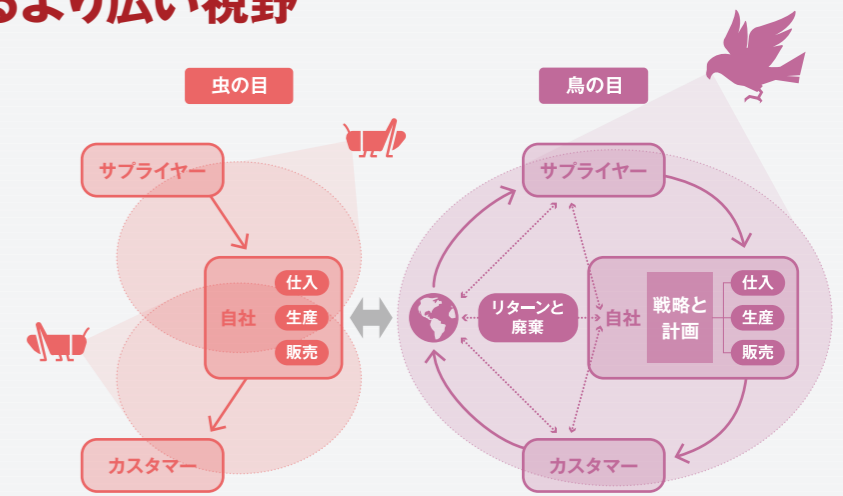
## 2. 『超』入門! SCMシリーズのラインナップ

- |                      |  |
|----------------------|--|
| ① 超入門! 世界標準のSCM      | 世界標準のSCMの世界観と基礎知識の全体像を俯瞰的に学習することを狙いとしたモジュールです。シリーズの最初に受講することをおすすめします。  |
| ② 超入門! メーカーのSCM      | 「実行」および「計画」領域の観点よりSCMを学びます。メーカーの立場からサプライチェーンの「問題発見」と「課題設定」を行うことを目指します。 |
| ③ 超入門! 組織の壁を突破するS&OP | 「計画」「戦略」領域の観点よりSCMを学びます。ROIC※を主軸に経営資源の配分に関する意思決定に寄与する提言のポイントを併せて学習します。 |
| ④ 超入門! 戦略的サプライチェーン設計 | 「戦略・設計」領域の観点よりSCMを学びます。唯一の正解が存在しない世界で道筋を示すための整理軸と考慮すべき基本的なポイントを学習します。  |

※Return On Invested Capitalの略称。投下資本利益率。

## 3. 実務家に求められるより広い視野

日本国内においてSCMは「ものはこび=物流」や「ものづくり=生産」を中心とした局所的なアプローチとしてとらえられがちです。これに対して世界標準のSCMは「地球規模のエコシステム」を大前提とする俯瞰的で総体的なアプローチと位置付けられています。つまり、サプライチェーン上の問題状況はすべての当事者に影響するのであり、従ってこれを克服するための課題設定もまた当事者すべてに関わる形で行うことが強く望まれます。本セミナー群では、局所的なアプローチのための「虫の目」と共に、俯瞰的で相対的なアプローチのための「鳥の目」の両方を身につけることを目指します。



JILS「サプライチェーンマネジメント推進に向けた課題2022」をもとに作成

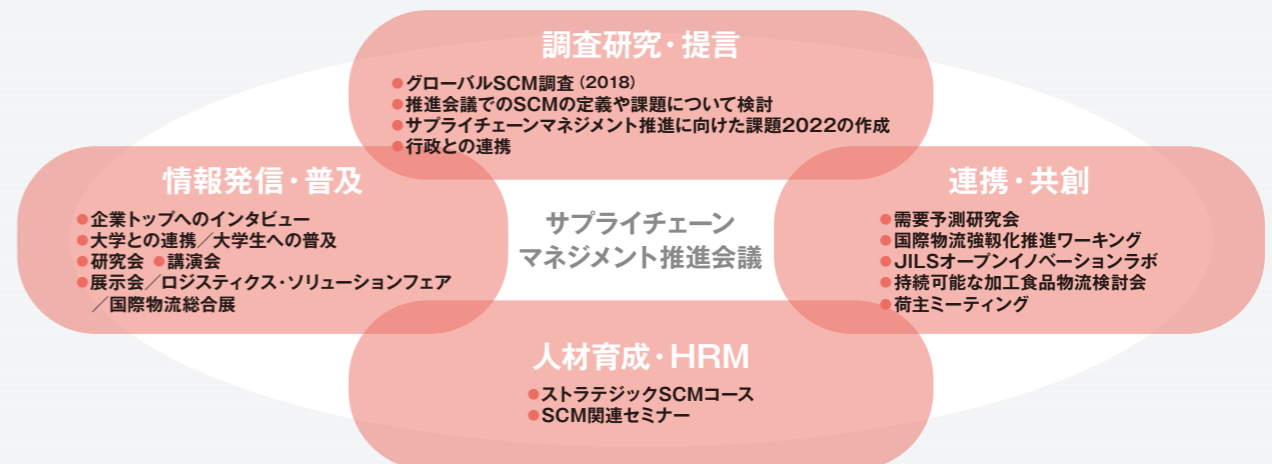
| 「『超』入門!」シリーズ   | 『超』入門! 世界標準のSCM | 『超』入門! メーカーのSCM | 『超』入門! 組織の壁を突破するS&OP | 『超』入門! 戦略的サプライチェーン設計 |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------------|----------------------|
|                | BSCM®-I準拠       | BSCM®-IIa準拠     | BSCM®-III準拠          | BSCM®-IV準拠           |
| ① SCMの基礎概念と世界観 | ◎               | ○               | ○                    | ○                    |
| ② 「戦略・設計」の観点   | ○               | △               | ○                    | ◎                    |
| ③ 「計画」の観点      | ○               | ○               | ◎                    | ○                    |
| ④ 「実行・管理」の観点   | △               | ◎               | △                    | △                    |

BSCM® (Basics of Supply Chain Management) について <http://omg.scmtokyo.com>

## 4. SCM ACADEMY of JAPANの諸活動

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)は、この度、協会内にSCM ACADEMY of JAPAN(SCM-AJ)を設置し、産業界の問題発見と課題解決に寄与すべく、以下の活動を進めてまいります。

- 企業内・外における研究の一助のための「調査研究・提言」
- 最新の情報や技術を収集し普及するための「情報発信・普及」
- 企業間の連携や業種・業態を横断するための「連携・共創」
- 『超』入門! SCMシリーズなど、SCMの高度化に向けての人材育成をはじめとする「HRM (Human Resource Management: 人的資源管理)」



本活動の一環として、『サプライチェーンマネジメント推進に向けた課題2022』を冊子として発行することとなりました。本冊子が自社内でSCMの推進に取り組む皆様の参考資料となるようご案内いたします。

<https://www1.logistics.or.jp/news/detail.html?itemid=724&dispmid=703>

